

令和2年度

外 来 種 対 策 事 業

( 鳥 類 対 策 )

業 務 実 施 報 告 書

( 概 要 版 )

令和3年3月

沖縄県環境部自然保護課

株式会社南西環境研究所



## 目次

第1章 業務概要	1
1.1 業務名	1
1.2 おもな履行場所	1
1.3 業務実施期間	1
1.4 発注者	1
1.5 受注者	1
1.6 業務目的	2
1.7 業務内容	2
1.8 業務実施フロー	4
1.9 業務工程	5
第2章 営巣卵の駆除	6
2.1 はじめに	6
2.2 方法	6
2.3 調査結果	7
第3章 ねぐら探査による生体駆除	24
3.1 はじめに	24
3.2 ねぐら探査	24
3.3 生体駆除	28
3.4 まとめ	32
3.5 引用文献	33
第4章 インドクジャクの生息調査	34
4.1 はじめに	34
4.2 方法	34
4.3 調査結果	36
4.4 引用文献	38
第5章 普及啓発	39
5.1 はじめに	39
5.2 実施内容	39

第6章 外来種対策事業まとめ .....	42
6.1 令和2年度駆除結果まとめ .....	42
6.2 エリアごとのクジャク休息地点における確認数の変動 .....	45
6.3 生息数のシミュレーションモデルの検討 .....	68
第7章 作業部会 .....	72
7.1 第1回作業部会の概要 .....	72
7.2 第2回作業部会の概要 .....	73

巻末資料1 事業概要

## 第1章 業務概要

### 1.1 業務名

令和2年度外来種対策事業（鳥類対策）

### 1.2 おもな履行場所

沖縄県八重山郡竹富町黒島とした(図 1.1)。



図 1.1 おもな業務位置図（黒島）

### 1.3 業務実施期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 1.4 発注者

沖縄県知事

沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

### 1.5 受注者

株式会社 南西環境研究所 代表取締役 田中 順一

沖縄県中頭郡西原町字東崎4-4

## 1.6 業務目的

沖縄県では、「沖縄 21 世紀ビジョン」において、めざすべき将来像として、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島」を目標の1つとしており、多くの固有種や希少種が生息する、生物多様性に富んだ自然環境が守られていることが将来の姿として記載されている。しかしながら、県内においては、すでに様々な外来種が侵入し、一部定着が確認されている。それらの状況をふまえ、令和元年度において「沖縄県外来種対策指針（以下、「指針」という。）」、「沖縄県対策外来種リスト（以下、「リスト」という。）」および「沖縄県外来種対策行動計画（以下、「行動計画」という。）」を策定し、本県の外来種対策を推進するための基盤整備を図った。

本業務は、沖縄県の生態系を保全するため、指針や行動計画等にもとづき、外来種である鳥類（特に、インドクジャク（以下、「クジャク」という。）」への対策を実施した。

## 1.7 業務内容

### (1) インドクジャクの捕獲等実施

竹富町において、行動計画及び「沖縄県外来種対策行動計画に基づくインドクジャク防除計画」（以下「クジャク防除計画」という。）に定められた防除目標の達成のため、空気銃等による捕獲及び駆除を行った。

#### 1) 捕獲実施計画書等の作成

業務目的を達成するため沖縄県環境部自然保護課担当職員（以下「担当職員」という。）と協議の上、業務実施計画書及び安全管理計画書を作成した。

#### 2) 捕獲実施地域

クジャク防除計画に基づき、主に黒島において実施した。

#### 3) 捕獲状況報告

初回、最終、作業部会実施前に実施した。

#### 4) 捕獲作業等

##### ① 営巣卵の駆除

クジャクの繁殖による個体数の増加を抑制するため、6月から7月までの間、探索犬を用いて15日間の営巣卵の探索及び駆除を行った。

##### ② ねぐら探査による生体駆除

年間6回の計30日間、クジャクのねぐら探査を行うとともに、当該ねぐら地点においてワイヤーや空気銃を使用した生体の捕獲・駆除を実施した。

##### ③ インドクジャク生息調査

業務実施地域内でのクジャク生息調査を実施した。

#### (2) 他の鳥類の緊急防除

リストに定める他の鳥類や生態系への影響が大きい鳥類の侵入・定着が確認されなかったため、緊急防除は実施しなかった。

#### (3) データの集計・解析等

捕獲状況、分布密度及び捕獲効率について、以下のことを考慮し調査検討するとともにその結果について評価した。

- 捕獲努力量、捕獲数、捕獲効率等の基本的事項を区域単位等に取りまとめた。
- 捕獲個体の変化、生息密度変化、ワナ設置位置と捕獲数の関連等の検討を行い、課題点を抽出するとともに捕獲手法に反映させ、捕獲事業全般を取りまとめた。

#### (4) 検討委員会の設置・運営、普及啓発

##### 1) 作業部会

鳥類対策の評価にあたり、専門家を含めた作業部会を令和2年11月6日および令和3年2月9日に開催した。

##### 2) 普及啓発

地域住民への普及啓発のため黒島港や石垣港等において、本事業におけるパネル展示を実施した。

#### 1.8 業務実施フロー

当該業務は、図 1.2 に示す作業フローにしたがって実施した。

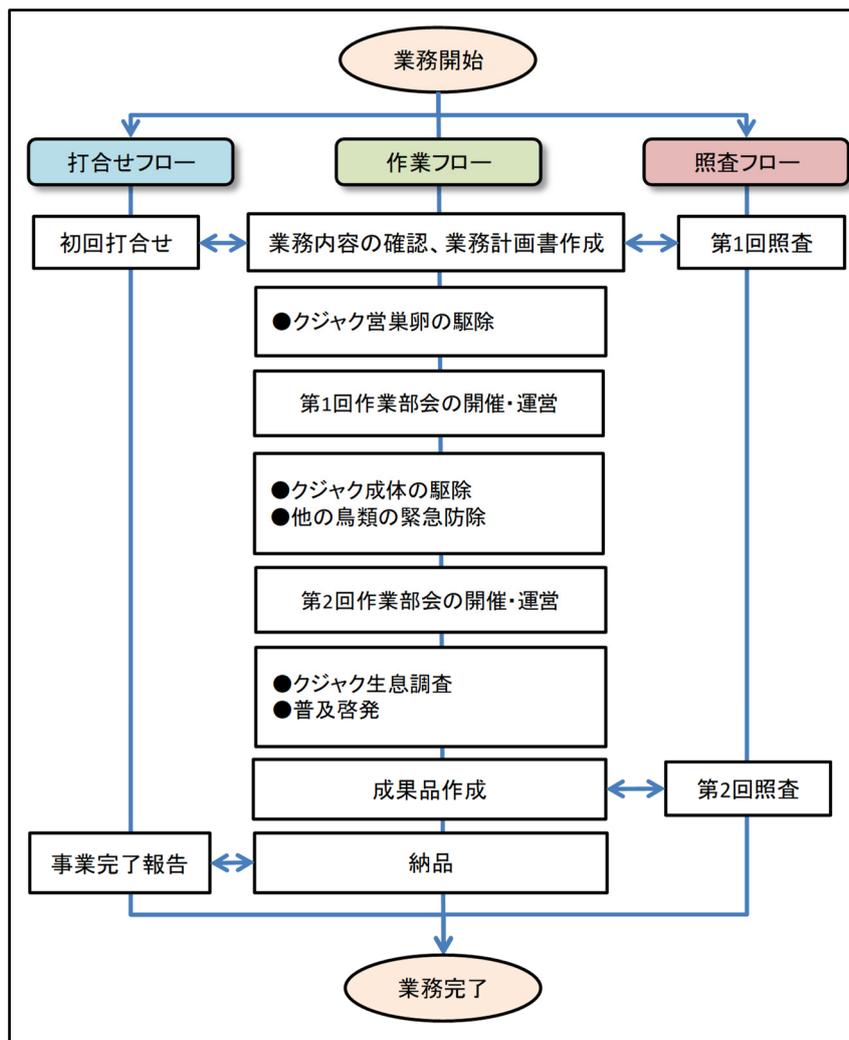


図 1.2 作業フロー

## 1.9 業務工程

当該業務の業務工程を表 1.1 に示す。照査は打合せ前に社内で自主的に実施した。また、打合せ協議は3ヶ月に1回程度の捕獲状況報告時に合わせて行い、計5回実施した。

表 1.1 業務工程表

業務区分	年月	令和2年												令和3年			備 考		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
インドクジャクの捕獲等実施	捕獲実施計画書等の作成	-																	
	捕獲状況報告	●			●					●					●			●	3ヶ月に1回程度実施
	捕獲																		15日間実施
	作業等																		6回(5日/回)実施
	インドクジャク生息調査																	-	3日間実施
他の鳥類の緊急防除																			随時実施
データの集計・解析等																			
検討委員会の設置・運営、普及啓発	作業部会																	●	2回開催
	普及啓発																		-
報告	報告書作成																		